

住民の皆さんと一緒につくる 地域の未来!

【議会に対する意見】

- ①議員が自分の地域のことしか言わないのはおかしい。もっと広い視野での活動を望む。
- ②議員報酬、定数、兼業をどう思うか。
- ③ネット配信、生中継を行っているが、平日昼間に見れない人のために録画ができないのか。
- ④市役所の窓口で聞けるような一般質問はどうかと思う。
- ⑤一般質問、議案質問の内容を詳しく知りたい。

参加人数

会場(地域)	男性	女性	合計
津名	6	2	8
岩屋	14	13	27
北淡	8	1	9
一宮	4	0	4
東浦	6	2	8
合計	38人(67.8%)	18人(32.2%)	56人

■議会報告会について

評価する (63.2%)	どちらとも言えない (21.1%)	その他 (15.7%)
-----------------	----------------------	----------------

■議会だよりについて

全部読んでいる (44.7%)	関心のある記事のみ読む (44.7%)	その他 (10.6%)
--------------------	------------------------	----------------



ワークショップ方式を取り入れた岩屋会場

11月16日から18日にかけて、5地域で議会報告会を行い、56人の参加をいただきました。決算審査を中心に9月議会の報告、質疑応答の後、各地域での課題など意見交換が活発に行われました。

また、岩屋会場では、議会報告会としては、初めてワークショップ方式を取り入れ、参加者全員が意見を述べる等工夫もみられました。

■新火葬場

■新火葬場の建設は決まったのか。

■野田尾町内会・興隆寺町内会の賛同が得られ、周辺に建設することになりました。計画場所付近には活断層が走っており、影響を調査中です。

■風車倒壊

■風車倒壊に伴う事故調査に3000万円もかけて行う必要があるのか。これまで故障も多く、さらにお金を使っていくのか。

■調査委員会のメンバーはどうなっているのか。調査が役立つのか。

■電気事業設置者として調査義務があり、経済産業省から原因究明を求められています。多額の費用を要するため、国に特別交付税措置を求めたいです。

■委員会は、専門の大

学教授で構成され、会議には、業者、経産省の職員などが参加します。

■イノシシ対策

■イノシシの農業被害の状況は、檻管理のチェック体制、捕獲頭数の管理、緩衝地のまちづくり、お金の使われ方の透明化等を進めてほしい。



住宅地までイノシシが出没、撲滅対策は。

■平成29年の農作物被害は700万円、590万円であり、前年比200万円の減少です。対策は進めていて、毎年2500頭前後捕獲していますが、絶滅までに至っていません。捕獲専門員も活用しながら、捕獲技術を向上し

て、地域ぐるみで取り組むことも必要です。

■ふるさと納税

■本市では、ふるさと納税額が3年続けたがっている。一方、洲本市は上昇している。分析と対策を立てているのか。返礼品だけではなく、納税者との関係づくりを進めていくべきである。返礼品は国の規制もあり、その魅力を高めなければなりません。東京からの納税者も多く、東京との関わり方も大事です。アンケートや皆さんからの知恵をいただき、市独自のインパクトのあるものを考える必要があります。



※ワークショップ方式……参加者全員が意見を出し合う手法

■関空ライン

■関空ラインの今後の在り方、結末をしっかりとしてほしい。

■最低4年航行する予定でしたので、初期投資として補助しました。補助額の75%を返還というところで、淡路広域行政事務組合の議会で決まりました。

■山間部への交通の手段は、乗り合いタクシー、デマンド交通やコミバスで確保しています。

■長澤、岩屋、興隆寺、山田を例に取ると、市が車両やガソリン代を負担しています。地域が主体となつて、地域の実情に合わせた方法を考える必要があると思います。

■道路改良

■生活道路が狭くて、デマンドサービス時に支障がある。何とか車が入れるような道路改良はできないのか。

■土地を無償提供していただいても、道路新設拡幅が進まない状況です。住民要望で一番多いのが、道路関連と認識しています。予算を増額したり、どうしたら道路拡幅の実行ができるのか、いろんな

■監査

■第三者による監査機関を設けるべきだ。前回にも質問したが、その後どうなったか。

■議会派間の議論も行いました。しかし、表決の結果、従来どおり議会から監査委員を選出することになりました。

■もう一人は、市職員OBです。

■各会場で寄せられましたご意見には、しっかりと全議員で共有しつつ、課題を抽出して、今後の政策提言に生かしたいと考えています。

■公共交通
■山間部への交通手段の確保に尽力してほしい。



※ランドバンク……空き家や空き地などを取得し、周辺の土地を含めた地域を一体的に活用・再生する手法